

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担当）	単価の動き	・お歳暮ギフトは好調に推移しているが、売行きの良い商品は4～5万円代の品物と1万円代前半の品物に分かれており、格差が出ている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・12月は気候が安定したことで来街者が増え、売上は前年を上回った。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・お歳暮ギフトの需要が伸びている。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店、コンビニエンスストア、ローカルスーパーともに前年比2%上昇しており、クリスマスケーキの店頭販売も好調であった。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・1人当たりの買上点数が増えており、客単価も1,500円台から2,000円台に上昇した。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・グループ客が増え、来客数が増加した。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数が増えており、景気は良くなっている。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・12月の婚礼件数は例年20件件であるが、今年は30件を超え、過去最高の件数であった。また、売上が対前年20%以上伸びている。おせち料理は通常15日過ぎから予約が盛んになるが、今年は12月10日で完売した。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・宿泊客数は横ばいであるが、婚礼や宴会の来客数が前年比40%増と大幅に増加した。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・市内への入込客数が増加しており、市内ホテルの稼働率がアップしている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会やボーナス時期で、昼夜ともに客の動きが良かった。特に夜は、忘年会関係で車が足りないという時間帯もあった。
	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・依然として、販売量が好調である。	
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・販売施策の変更により、販売量がやや増加傾向にある。	
	変わらない	商店街（組合職員）	来客数の動き	・歳末の売出しとイベントを行ったが、売上が昨年並みを維持した店は少なく、全体的に大幅ダウンとなった。歳末売出しの効果が薄れつつあり、商店街は大変な状況にある。
商店街（代表者）		来客数の動き	・客の動きが少しあったが、暖冬のため衣料品の動きが鈍い。	
一般小売店〔鮮魚〕（店員）		お客様の様子	・来客数が増えず、客単価も低下しており厳しい状況である。	
一般小売店〔茶〕（販売・事務）		単価の動き	・来客数は横ばいであるが、客単価は低下傾向である。	
百貨店（営業担当）		販売量の動き	・昨年の反動で重衣料関係が苦戦している。一部の高額品やレジャー商品、ゲーム機等の電化製品の需要は高いが、全体的に動きは鈍い。	
百貨店（営業担当）		お客様の様子	・気候の影響で紳士・婦人衣料品の動きは鈍く、雑貨も伸び悩んでいる。一方、子ども衣料は好調であった。お歳暮ギフトは前年並みを確保し、ギフト通販、コンビニ受注ギフトなど利便性の良いものが好調であった。	
百貨店（販売促進担当）		お客様の様子	・暖冬の影響により、防寒衣料が大苦戦している。またクリスマス商戦も直前の日並びが悪く、売上が前年比で大幅ダウンとなった。	
百貨店（売場担当）		販売量の動き	・暖冬により冬物衣料、防寒用品の動きが鈍かった。	
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・昨年の厳冬の反動もあり、ファッション性の高い商品は好調であるが、防寒具類が低迷している。前半の仕掛けは好調に推移したものの、実需の大きいクリスマス商戦は厳しい結果となった。		

	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・来客数は、ほぼ前年並みとなった。紳士服のコートは不調であったが、ジャケット類は好調に推移した。一方、婦人服ではコートは好調であったが、ジャケット類は不調であった。またギフト類は前年並みで推移しているが、客単価はやや低下している。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客は安売り日に集中して来店しており、その日の来客数、売上は増加傾向にあるが、それ以外の日は非常に厳しい。特に日曜日の落ち込みが大きい。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・相次ぐ競合店の出店や暖冬の影響により、衣料品の販売量が極端に落ち込んでいる。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価は2、3ポイント上がっているが、来客数は1、2%程度減少しており、総じてほぼ前年並みである。
	衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・流行のものは寒さに関係なく売れるが、ニットなど定番商品は暖冬の影響でなかなか売れなかった。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・来客数はほとんど変わらないが、販売量はやや下降気味である。
	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	来客数の動き	・客単価はあまり変わらないが、来客数は増加している。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格がやや低下傾向となってきた。暖房用の灯油などは順調に推移しているが、暖冬のおかげでやや減少気味である。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・忘年会シーズンで客室は満席になるが、1件当たりの人数は減少している。客単価は上がっているが、売上は減少している。
	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・来客数は増えているが、客単価は伸び悩んでいる。
	タクシー運転手	お客様の様子	・客の動きは一時期より良くなったが、財布のひもが非常に固く、必要なもの以外には金を払わない傾向にある。
	通信会社（業務担当）	来客数の動き	・12月はボーナス商戦でキャンペーンもあったが、平日の来客数の減少は顕著であった。また週末の来客数は多いが、大手量販店のにぎわいほどはない。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・暖冬により、観光施設の来客数は多かった。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・これまで空き店舗はなかったが、ここ数か月数間は空き店舗が埋まらない状況である。特に、衣料品関係が厳しくなっており、郊外の大型商業施設の影響である。
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・郊外の大型店に客が流れ、商店街に来る客は少ない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街に来街者が少なく、歳末商戦が全く盛り上がっていない。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・好調であったコートの動きが悪くなり、全体でも売上が苦戦している。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・暖冬により、紳士・婦人共に衣料品で大苦戦を強いられている。
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・食料品関係は販売量が多いが、高額品の動きは鈍い。
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・購買意欲が明らかに低下しており、コーディネート販売並びに関連商材の販売もほとんど効果なく、必要のある商品を吟味して購入する客が非常に多い。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・販売量が少量化しており、客単価、売上が低下している。
	スーパー（店長）	単価の動き	・競合店の出店が相次いでおり、既存店舗、特に小型店が厳しい。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・暖冬の影響で冬物衣料がほとんど売れず、衣料品の売上が前年比79.1%であった。食料品ではクリスマス商品の菓子が前年比80%程度と苦戦しており、全体的には前年比93%程度で推移している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・寒さが長続きしない状態があり、インテリア関係の商品と衣料品の売上がなかなか上がらない。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・お歳暮ギフトの販売量が会社関係、法人関係で減少している。また衣料品、特に肌着、寝具、アウトウェアが大幅に前年割れしており、大幅な販売量の低下につながった。

		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・暖冬であるため鍋物・ホット商材の動きが非常に悪い。また直近にオープンしたショッピングセンター等競合店の影響が大きく、来客数の減少が大きい。カードポイントサービス倍増販促やチラシ価格の訴求、夕方の品ぞろえ強化等ではカバーできない状況である。また、年初から営業する店舗も多くなり、年末3日間の来客数、売上は年々減収傾向である。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・暖冬により、冬物商材の動きがかなり鈍い。スライス肉、鍋物商材、冬物衣料など大幅に前年を割っている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・12月初旬から買上点数が急激に下がっており、客単価も減少している。クリスマス商戦も動きは鈍く、前年を大きく下回った。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・暖冬により厚手の衣類の動きが悪く、なかなか買上点数が伸びなかった。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・ヤング婦人服は前年を上回ったが、ミセス婦人服は前年割れである。全体的に、暖冬により重衣料、コートが売れていない。呉服、着物の売上も前年割れであるが、貴金属は中高級品が好調で、前年より大幅に増加となっている。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・地上デジタル放送開始の反応が鈍い。消費者の収入は目減りしたままで、購入意欲が上がっていない。
		乗用車販売店（管理担当）	お客様の様子	・ガソリンの高止まりにより、車の買い控えがあり、新車の単価も昨年に比べ大幅に下がっており、利益率は低くなっている。販売台数も前年割れとなっており、来場者数はある程度確保できても、なかなか受注に結び付かない。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・大物家具の動きが悪く、来客数も今年は特に良くない。
		高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・忘年会のピークである週末に予約がなく、休業している店も何軒もあった。
		一般レストラン（スタッフ）	単価の動き	・納品業者等の販売量を聞いてもかなり下がっており、悪くなっている。
		その他飲食〔居酒屋〕（店長）	お客様の様子	・来客数は減少傾向にあり、今までになく苦しい年であった。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・秋の好調さの反動で、動きが鈍かった。
		タクシー運転手	お客様の様子	・県外客が少なく昼間の動きは悪く、夜も昨年に比べると悪い。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・九州一の売場面積を持つ大型商業施設が開店し、客がそちらに流れ商店街は厳しい状況であった。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・暖冬により、衣料品の中でも防寒関連の動きは鈍かった。若い世代はファッションという切り口で防寒関連の動きも良かったが、年齢の高い層の衣料品は非常に悪かった。クリスマスギフトも減少傾向にあり、すべてが厳しい状況である。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・近郊に大型商業施設がオープンし、来客数、売上高ともに大幅に減少している。
		衣料品専門店	販売量の動き	・暖冬で来客数も減り、販売量も減っている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・暖冬により、冬物衣料の動きが悪い。商店街では12月初め抽選券付き売出しをしたが、客の反応は鈍かった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・契約台数が前年を大きく下回り、大変苦戦している。
		一般レストラン（スタッフ）	それ以外	・客の飲酒運転の意識が高まり、忘年会シーズンであるが客は減少している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・売上は前年比5～10%ほどマイナスとなっている。昼間の動きは前年並みであり、夜の動きが極端に悪い。
企業動向関連	良くなっている		-	-
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は特殊需要により、前年比100%であった。暖冬のせいもあり、鍋物需要が少し弱かった。
		農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・需要期ということもあり、順調に動いている。

	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・オフィス業界の需要期に向け、増産在庫も久しぶりに増えている。年度末を迎える3月までの受注見込みが増えている証拠である。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一時的に受注量が増加した。納期対応ができず、断るような状況である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体の動きが非常に盛になってきた。新潟、東北地方、中部地方からの引き合いも増えた。受注量の動きがあり、稼働益に効果が出ている。全般的に4か月くらい非常にいい傾向が続いている。
	金融業（営業職 渉外係）	取引先の様子	・年末年始に向け、企業の資金需要が盛になっている。設備投資の意欲も高まっており、若干景気回復しつつある。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・暖冬により、衣料品等を中心に売上が伸び悩んでおり、飲食関係もかなり昨年と比べて悪い。
	その他サービス業〔物品リース〕（役員）	受注量や販売量の動き	・着実に契約額が伸びており、前年比で増加傾向にある。
変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体リードフレーム、コネクター関係等、電子部品金型関連は安定している。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・同じ業界でも売れているメーカーの商品は荷動きが良いが、そうでないところは前月と変わらない。全体的には通常より少し増え、問屋及び2次店がストックを抱えないような状況がますます進んでいる。
	通信業	受注価格や販売価格の動き	・受注量が多いが、利益がほとんど見込めない受注を断っている物件もある。また同業の中には断りきれず赤字となっている物件もある。
	新聞社（広告）	受注量や販売量の動き	・新聞広告の動きが悪く、テレビや他の媒体が特段良いとの話も聞かない。
やや悪くなっている	繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・基本的には受注は増えておらず、暖冬のため追加の注文も望めない。
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・今年4月ごろ1,200円程度であった型枠用のコンクリートパネルが現在1,600円台まだ高まっている。また、数量の確保が難しくなっているため、工事に影響が出そうである。
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・衣料品、食料品等主な商品の荷動きが悪かった。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要が低迷している。融資の伸びが不動産・金融などに偏っている。
悪くなっている	経営コンサルタント	取引先の様子	・酒類関係において年末商品、ギフト商品の売行きが鈍い。特に高額商品が売れていない。
雇用関連	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求職者は減少傾向にあるが、よりよい労働条件の職場を求め、在職者の求職者が増加している。また、求人が増加しており、中でも正社員の募集が増加している。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・求人数が前年比10%以上プラスのまま推移している。一部に供給難を生じる職種が出始めた。
やや良くなっている	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・有効求人倍率は1.04倍と6か月連続1倍台を続けているが、若干全国平均より低い。しかしながら正規求人の割合は全国平均より高く、前月より伸びている。新規求人の中で正規職員の求人の比率が全国より高いため、雇用の質が良くなっている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・受注件数は順調に伸びているが、受注先の会社に多忙感を感じない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・年末年始であるが、暖冬により流通関連の動きが鈍い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人倍率は、3か月連続で0.6倍台で推移しており、大きな変動はない。
	職業安定所（職員）	それ以外	・雇用保険適用事業所が減少傾向にあるが、起業して数年の企業の廃業が目立っている。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前年に比べ求人の発生の時期がやや早まっている。
	学校〔大学〕（就職担当者）	求人数の動き	・2007年3月卒業予定者（大学4年生）向けの求人票受理件数は減少しているが、2008年3月卒業予定者（現3年生）向け求人情報の件数が増加してきた。

やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手同業他社の進出もあり、当社への求人依頼が減少傾向にあるのに加え、市場全体の求人社数も減少傾向にある。</li> <li>・建設業で営業不振による解雇や廃業、事業縮小が続いている。また今月は建設業のほか、飲食業での店舗閉鎖が目立っている。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	それ以外	
悪くなっている			